

V

知的障害やADHDなどの方の見守り対策を

無所属 下田 純一 (しもだ じゅんいち)

問

軽度知的障害やADHDの方の見守りとして認知症の方と同じような見守りネットワークを作ることにはできないか問う。

答

ネットワークの構築には様々な課題があり、地域における障害への普及啓発活動を実施していく。

問

他自治体では同様の方へGPSの貸出しによる位置探索サービスを行っているところもあるが、本市ではできないか問う。

答

障害のある方を見守る取組やツールは特性に応じ様々あるので情報収集に努める。

問

旧ひばりが丘中学校跡地のテニスコートの設置はなくなったが、今後の設置に向けた考えを問う。

答

現時点で候補地はなく、公共施設の跡地活用や学校施設の活用を協議していく。

意見

テニスコート設置までは民間施設利用の補助などを検討していくべきである。

問

保谷駅南口ペDESTリアンデッキの喫煙とポイ捨てがひどいが、市としての対策について問う。

答

日本たばこ産業と分煙対策に係る協定を結んだ。また民間企業との協力も含め路上喫煙・ポイ捨て防止地区の周知を検討していく。



▲旧ひばりが丘中学校跡地

V

小中学校の暑さ対策・安全対策の強化を！
駅前広場等における飲酒・ごみ対策推進を！

維新・国民民主 山崎 英昭 (やまざき ひであき)

問

公共施設のクールシェアと、自販機・給水機の設置拡大を求める。

答

公民館の自販機設置は都営住宅併設で課題がある。

問

小中学校の最上階教室のクーラー増設など、早急な暑さ対策を。

答

今後の空調更新で、冷房機器の追加や遮熱フィルム施工を検討。

学校の安全対策強化

問

モニター付きインターホンや電子ロックなど、来校者対応の強化を。

答

各学校への指導を徹底し、校門施錠や警備を強化。来訪者は防犯カメラと指定通用口での受付で対応。

問

夜間・休日に備え、AEDの追加設置と適切な配置場所の検討を。

答

入れ替え時に設置場所を検討。

駅前広場等における飲酒・ごみ対策

問

駅前広場等での夜間の飲酒やごみ放置に対する取組推進を。

答

清掃や啓発活動を実施。ひばりヶ丘駅ではスーパーと連携した取組を検討中。連携協定した日本たばこ産業とポイ捨て防止啓発等を図る。

乳幼児のかかりつけ歯科医

問

虫歯予防のため、かかりつけ歯科医の定着に結びつく取組推進を。

答

5歳児健診の案内に保護者自身の歯科健診受診も促すなど、連携して健康づくりを推進する。



▲ひばりヶ丘駅北口

V

外国籍市民が年々増加している
西東京市の多文化共生への取組を問う

無所属 田村 ひろゆき (たむら ひろゆき)

問

文化や習慣の違い、生活上のルールの不徹底などが原因で近隣住民とトラブルになっているといった報道を目にすることがあるが、本市でそのような事例を把握しているか。

答

所管課の文化振興課では直接相談を受けていない。ごみ問題や騒音問題など、ルールが守られていないとの相談が寄せられた際は、改善に向けて、庁内関係部署で連携を図りながら対応していく。

問

西東京市多文化共生センターでの外国籍市民の日常生活相談の件数、特に多い相談内容や近年の傾向について問う。

答

令和6年度で200件。そのうち70件が子ども、教育、学校に関する相談内容となっている。

問

言葉や文化、習慣の違う外国ルーツの子どもたちが学校生活を送るためにどのようなサポートをしているか。

答

NPO法人西東京市多文化共生センターの協力の下、1人当たり100時間を上限に日本語適応指導を実施している。また、日本語を母語としない小中学生が学習・相談・交流できる地域の拠点として多文化キッズサロンを整備・運営している。



V

市職員採用における国籍条項について

無所属 長井 秀和 (ながい ひでかず)

問

西東京市における公務員採用での国籍条項をどう位置づけているのか。現在、多くの地方自治体では外国籍住民の割合が増加していて、外国籍住民の人材登用を市政で行い、国籍条項の撤廃を進めているが、どうか。

答

公務員採用における国籍条項の考え方については、国の見解として、公権力の行使または国家意思の形成への参画に携わる公務員となるためには日本国籍を必要とし、それ以外の公務員となるためには必ずしも日本国籍を必要としないと示されている。この見解を受け、多くの地方自治体においても国籍条項を設けずに職員採用を行っている。一方で、外国人住民の比率が高い一部の自治体において、外国人向けの行政サービスを充実させることを目的に、外国籍を持つことを要件とした職員採用を積極的に実施している例があることについては認識している。こうした中で、本市の採用試験においては、国の見解を踏まえ、受験資格に国籍条項を設けていない。このため、職員採用に当たっては、国籍による区別なく、能力実証による職員採用を行っている。



議員研修

手話の普及促進に向けて

手話の歴史と手話言語条例

近年、「手話は言語である」という認識が広まり、全国で手話言語条例の制定が進んでいます。
西東京市においても、障害の有無にかかわらず、だれもが自分らしく暮らせる共生社会の実現は、重要な課題です。
「手話普及促進議会」に位置付けた今回の定例会の最終日、東京都聴覚障害者連盟事務局長の越智大輔先生を講師にお招きし、手話の歴史と手話言語条例についてご講演いただきました。
手話の歴史や言語としての役割、そして条例制定の意義についてお話を伺い、大変貴重な機会となりました。



▲研修後、講師の越智先生を囲んで手話のポーズ

議長公務

未来へつなぐ50年の歴史

柳沢小学校記念式典に参列

柳沢小学校の開校50周年記念式典に、議長として参列いたしました。長きにわたり地域に愛され、歴史を刻んでこられた同校の節目を心よりお祝い申し上げます。
引き続き、これまでに築かれた強い絆とともに、良き伝統を次世代へ継承していただき、現在、そして未来を担う子どもたちの健やかな成長につながりますこと、さらなる地域のまちづくりにつながりますことを、心より期待いたします。



▲開校50周年の節目を祝い、祝辞を述べる佐藤議長